

受験生の皆さんへ

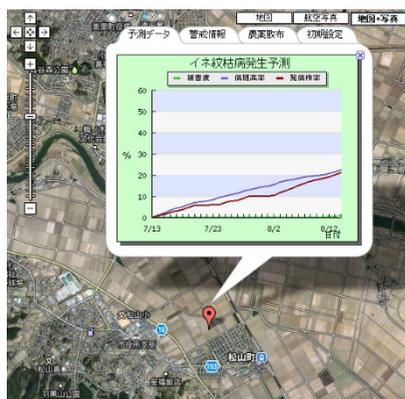
『 不要な農薬散布を減らして作物の病気を防除する 』

山形大学農学部安全農産物生産学コース

准教授 小林 隆 (KOBAYASHI, Takashi)



水稻の病害



発生予察で病害防除

農薬を使用しない有機栽培や農薬の散布回数を減らした特別栽培が増えています。皆さんは健康被害や環境汚染など農薬に対して負のイメージが強いと思いますが、効率良く農作物を栽培して収量を得るためには農薬は欠かせません。

出来るだけ農薬の使用を少なくするには、不要な農薬散布を減らす必要があります。病気が将来発生するかどうか予測して、もし発生が少ないと予測された場合は農薬の散布をやめる判断が出来ます。また、病気にかかりやすい気象条件を明らかにすることにより、病気の発生を予測できるようになります。

専門分野: 植物病理学

自己紹介: お天気と病気の発生に関係を調べてます。

連絡先: 0235-28-2849

e-mail : tkoba@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

